第6学年 学級活動指導案

平成 27 年 11 月 16 日 (月) 第 6 校時 6 年 1 組 34 名 指導者 略

- 1 議題「HAPPY6の1スポーツフェスティバルをしよう」
- 2 学級と児童の実態

本学級の児童は明るく活発で、何事にも意欲的に取り組むことができる。学習意欲が高く、作業にも手際よく取り組むことができる。また、困っている友達に声掛けをして手助けするなど、思いやりのある行動をとることができる児童が多い。

4月当初にどんな学級にしていきたいかと尋ねたところ、「思いやりのある学級」や 「積極的なクラス」「助け合えるクラス」など、たくさんの声が返ってきた。話合いが 進むと、「どうすることが思いやりのある行動といえるのか。」「特に頑張りたいことは 人それぞれ違うのではないか。」などと具体性が増し、決めなければならない学級のめ あてから話題がそれてしまい、話がまとまらなくなってしまった。翌日、もう一度話 合いの機会をもったところ、教室の側面に個々の1年間の目標を掲示していることか ら、具体的なことはそれらを拠りどころにしていこうと共通理解を図った。そして、 それらの達成に向けて頑張ることができた時の気持ちは「HAPPY(幸せ)」になるこ とから、「HAPPY」を学級目標とすることに決定した。これが、6年1組の最初の学級 会である。しかし、4月末頃になると、「HAPPY」だけではつかみどころがないとい う意見が多くの児童から出されたため、再度話合いをし、「HAPPY~笑顔を咲かせ、 自信をもち、つなげようこの絆6の1~」という学級目標を新たに決定した。その後、 「学級旗を作ろう」「学級のイメージキャラクターを作ろう」を議題として話し合った。 2 学期からは、輪番制の司会グループをつくり、計画委員会を開いて事前に様々な意 見を想定した打合せを進めた。そうすることで、今までよりもさらに話合いがスムー ズに進行した。全員が司会グループを経験したことで、困ったときには児童同士でよ りよい解決策を考え、助言し合う姿が見られるようになった。また、初めはどんなこ とを議題として話し合えばよいのか分からず、学級会で話し合うにはふさわしくない 議題も見られた。しかし、計画委員会で係や先生に相談するものや個別で解決するも のなどに選別する活動をする中で、議題の選定についても理解できつつある。このよ うに、学級会の進め方について、徐々にではあるが理解が深まってきている。ただ、 自分の考えに自信がもてず積極的に発言できなかったり、自分の意見は言えても、友 達の意見を受けて、それに対する質問や付け加えの意見、あるいは新しい意見や折衷 案などを言えたりする児童はまだまだ少ないように思う。

A 児は自分の意見をもってはいるが、それを発表することが苦手である。そのため、 学級会ノートに励ましの言葉を書き、自信をもって発言できるよう支援したい。

B児は友達の意見をなかなか受け入れられず、自分の意見を通そうとしがちである。 そこで、事前に友達の意見をよく聞き、考えて発言するよう声掛けを行っている。

これまで培ってきた力を生かし、自分たち自身でよりよい学級をつくっていこうとする自治的能力や自主性、実践的な態度・気持ちを高め、学級目標に掲げる $\rm HAPPY\sim$ 笑顔を咲かせ、自信をもち、つなげようこの $\rm HGOO$ $\rm ICO$ というめあてに全員が迫れるよう、指導を重ねていきたい。

3 評価規準

集団活動や生活への	集団の一員としての	集団活動や生活についての
関心・意欲・態度	思考・判断・実践	知識・理解
学級や学校の生活の充実	楽しく豊かな学級や学校	みんなで楽しく豊かな学
と向上に関わる問題に関心	の生活をつくるために話し	級や学校の生活をつくるこ
をもち、他の児童と協力し	合い、自己の役割や責任、	との意義や学級集団として
て自主的に集団活動に取り	集団としてのよりよい方法	の意見をまとめる話合い活
組もうとしている。	などについて考え、判断し、	動の効率的な進め方などに
	信頼し支え合って実践して	ついて理解している。
	いる。	

4 事前の活動

【計画委員会の活動】

日時	旧会の活動	七道しの 図辛占	目指す児童の姿と
日時 児童の活動 児童の活動		指導上の留意点	評価方法
11月9日	第1回計画委員会	○ 出された議題	【知識・理解】
(月)	議題整理と活動計画	を整理し、必然	○ 自分の役割や学級
	ア HAPPY6の1スポーツ	性の高い議題か	会の仕方、基本的な
	フェスティバルをしよう	ら話し合うよう	進め方を理解してい
	→11月16日(月)本時	に助言する。	る。
	イ クリスマスパーティーを		<観察・計画委員会
	しよう		活動計画>
	→12月7日(月)		
11月10日	第2回計画委員会	○ 提案者の意	
(火)	議題決定、提案理由の吟味	向、学級目標に	【関心・意欲・態度】
	役割決定	合った提案理由	○ 話合いの準備に進
	「『スポーツの秋』にちなんだ	を考えるように	んで取り組もうとし

	集会をすることで、友達との	助言する。	ている。
	絆を深めたい。」「運動会や修		<観察・計画委員会
	学旅行の準備等で忙しくして		活動計画>
	いる中、学級全員で外遊びを		
	する機会が十分になかった。」		
	という意見を踏まえ、「最近		
	は、全員がそろって外遊びを		
	する機会がない。みんなで体		
	を動かし、思いっきり楽しむ		
	ことで、より一層仲間との絆		
	を深めたいから。」を提案理由		
	に、「HAPPY 6 の 1 スポーツ		
	フェスティバルをしよう」と		
	いう議題に決定した。		
11月11日	第3回計画委員会	○ 話合いの内容	
(水)	話合いの柱の決定	を学級全体で共	
	決定事項を全員に伝える	通理解できるよ	
		うにする。	

【学級全員の活動】

日時	児童の活動	指導上の留意点	目指す児童の姿と 評価方法
11月12日	○ 議題に沿って、自分の	○ 議題や提案理由、	【関心・意欲・態度】
(木)	考えを学級会ノートに	話合いのめあてに	○ 「HAPPY 6 の 1 スポ
	記入する。	ついて共通理解を	ーツフェスティバル」
		図った上で学級会	の目的に合った意見を
		ノートに記入させ	考え、学級会ノートに
		る。	書いている。
			<観察・学級会ノート>

5 本時の展開

(1) 本時のねらい

○仲間との絆を深められるような集会の計画を考えることができるようにする。

(2) 児童の活動計画

第 / 0 回 6の1	学級会	活動計画 11月	16日(月)
議題	HAPPY	bのしスポーツフェスティバル	をしよう
提案理由	最近は、全	見で外遊ひでする機会からを動かし思い。もり楽しかこと そを動かし思い。もり楽しかこと 半支深れたいから	ナよい。そこで
役割	司会(黒板記録() 副司会() ノート記録()
話合いのめあて)lスポーツフェスティバルにふさわし 見を聞いては。きりと言かう	
決まっていること	134-4157		,
		り紹介 ③議題の確認 ④提案理由の説	
話合いの順		いのめあての確認 ⑦話合いの順序の配 予想される意見	確認 ⑧話合い 準備物・役割
	目をするか. < 15分>	リレー ドッチボール (オリジナルの) エスがあるもの ナー人十二きゃく なみとが大会 玉入れ すもう	は11/15年に書いておく、進行司会・当副司会・黒板
柱2 盛り上げる	エ夫 < /。 分>	メタッル 寛状、MVP 応えれ団 音楽(BGM)	ホワイトント に書いておく、 ・当行司会 ・当てる 副司会 ・黒板
^{胜3} 农割分扎		音樂/系 2人 準/構係全員で ×9"ル係 賞状派)- 6人	·別の 黒板に けいじれる
⑨決まったことの	•	 	

(3) 教師の指導計画

	(3) 教師の指导計画					
児童の活動		指導上の留意点	目指す児童の姿と評価方法			
1	話合い		【思考・判断・実践】			
	①何をするか	○ スムーズに進行するよう	○ これまでの経験を生か			
	(三つに絞	に時間配分を意識させる。	し、提案理由を踏まえて、			
	る)	○ 提案理由を意識し、お互い	集会の目的に合った内容			
		の意見を尊重しながら話し	や工夫、役割について考			
		合わせる。	え、発言している。			
	②盛り上げる工夫	○ どうすればみんなが盛り上がるのか、学級全体でイメ	○ 友達の意見を参考にして新たな意見や折衷案を			
	②盛り上りる上人	ージを共有し、発表させる。	考えて発言している。			
		フセス有し、元叔でとる。	(観察・学級会/ート>			
		○ これまでの経験をもとに、	【知識・理解】			
	③役割分担	必要な係については事前に	○ 話合いの進め方や約束			
		短冊を用意しておく。(司	を理解している。			
		会・はじめの言葉・終わりの	<観察・計画委員会活動計画>			
		言葉など)				
		○人数は適宜調整し、全員が役				
		割をもてるようにする。				
		(当日の役割がない児童も、事				
		前の準備等で活動できるこ				
		とを知らせる。)				

6 事後の活動

日時	児童の活動	児童の活動 - 指導上の留意点	目指す児童の姿と
11.79	20至30日到		評価方法
11月17日	・役割ごとに協力して	○ 見通しをもたせ、	【関心・意欲・態度】
(火)	準備をする。	決められた事柄を当	○ 準備や集会に進ん
		日までに準備できる	で取り組もうとして
		ようにする。	いる。
		○ 帰りの会などで進	<観察>
		み具合を確認し、互	【思考・判断・実践】
		いの取組を認め合う	○ 自分の役割に責任
		ことで意欲の継続化	をもち、友達と協力し
		を図る。	て取り組んでいる。

11月18日	・HAPPY6の1スポ	○ 学級目標や提案理	○ 活動終了後、自身や
(水)	ーツフェスティバ	由を意識し、協力し	友達のよかったとこ
	ルを行う。	て実施できるように	ろを見つけるなど、互
		する。	いの頑張りを認め合
	振り返りをする。	○ 自分の態度を振り	うことができている。
		返り、今後の生活に	<観察・振り返りカード>
		生かせるようにする	
		とともに、友達のよ	
		いところについても	
		認められるように助	
		言する。	

<ご指導欄>